



平成 27 年 8 月 19 日

各 位

会 社 名 ANAホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 片野坂 真哉
(コード番号 9202 東証第1部)
問合せ先 コーポレートコミュニケーション室
グループ総務・CSR部長 原 雄三
(TEL . 03-6735-1001)

2015年度下期 ANAグループ航空輸送事業計画の一部変更に関するお知らせ

当社 100%子会社の全日本空輸株式会社において、2015 年度下期のANAグループ国際線・国内線航空輸送事業計画の一部を変更いたしましたので、別紙のとおりお知らせいたします。

以 上

2015年度下期 ANAグループ航空輸送事業計画を一部変更

～ 「首都圏デュアルハブモデル」のさらなる強化を進めてまいります ～

～ 全ての米国本土路線において、ビジネスクラスへのフルフラットシート導入が完了！ ～

ANAグループは、2015年度下期の航空輸送事業計画の一部を変更いたしました。

ANAグループでは、今年度上期に成田において2路線を新規開設、3路線を増便するなど、国際線ネットワークの拡充を進め、堅調な訪日需要と北米～アジア間の渡航需要の高まりにお応えするべく、「首都圏デュアルハブモデル」の強化を着実に進めています。

今年度下期においても、成田からはブリュッセル線を、羽田からはシドニー線を新規に開設するなど、引き続き国際線ネットワークを充実させてまいります。また、今年5月の日中両国による政府間協議の合意を受け、訪日需要の牽引役である中国線についても、羽田で新規開設・増便を実施します。

また国内線では、羽田の中国路線拡大に伴い暫定的に国内線で使用していた発着枠の継続使用ができなくなるため、羽田発着路線の一部を減便いたしますが、需要動向や競争環境に応じた路線便数の最適化と投入機種種の柔軟な調整を推進し、お客様の利便性向上に向け、国内線ネットワークの充実化を進めてまいります。

国内線、国際線、貨物専用便の路線便数、運航機種等の詳細は以下の通りです。

*これらの計画は関係当局への申請・認可を前提としております。

1. 国内線

国内線ネットワークのさらなる拡充を図りつつ、時季ごとの需要動向を踏まえ、路線・マーケットに応じた運航機材の最適化を推進いたします。

(1) 新規開設・増便

路線	実施時期	現行	変更後	備考
羽田＝関西	2015年10月25日～	4往復/日	5往復/日	
羽田＝石垣	2015年10月25日～11月30日、 12月25日～2016年1月6日、 2月1日～3月26日	2往復/日	2往復/日	期間増便
伊丹＝福岡	2015年11月21日 ～2016年1月31日	4往復/日	5往復/日	期間増便
仙台＝札幌	2015年10月25日～	2往復/日	3往復/日	※1・2
沖縄＝石垣	2015年10月25日 ～2016年3月26日	6往復/日	7往復/日	期間増便 ※1
福岡＝仙台	2015年10月25日 ～2016年3月26日	3往復/日	3往復/日	期間増便
沖縄＝宮古	2015年10月25日 ～2016年3月26日	6往復/日	6往復/日	期間増便

※1 一部、運航便数が異なる期間がございます。詳細につきましてはANA時刻表またはANA SKY WEBをご確認ください。

※2 エアドウ運航便とのコードシェア便数を変更いたします。詳細につきましてはANA時刻表またはANA SKY WEBをご確認ください。

(2)減便・運休

路線	実施時期	現行	変更後	備考
羽田＝神戸	2015年10月25日～	3往復/日	2往復/日	
羽田＝岡山	2015年10月25日～	6往復/日	5往復/日	
羽田＝徳島	2015年10月25日～	5往復/日	4往復/日	
羽田＝大島	2015年10月25日～	1往復/日	—	
関西＝札幌	2015年10月25日～	4往復/日	3往復/日	※3
中部＝札幌	2015年10月25日～	6往復/日	4往復/日	※3
中部＝函館	2015年10月25日～	1往復/日	—	※4
広島＝札幌	2015年10月25日～	1往復/日	—	※4

※3 一部、運航便数が異なる期間がございます。詳細につきましてはANA時刻表またはANA SKY WEBをご確認ください。

※4 エアドゥ運航便とのコードシェアを開始いたします。詳細は2015年8月19日発表のAIRDO/ANA共同リリースにてお知らせいたします。

2. 国際線

上期における新規就航地点であるヒューストンとクアラルンプールに続き、ブリュッセルおよびシドニー路線を新規に開設いたします。日本から唯一の直行便となるブリュッセルに就航することに加え、新たにオセアニアにネットワークを広げることにより、ANAの国際線ネットワークの利便性がさらに高まります。

また、羽田から北京・上海・広州線を増便または路線開設することにより、首都圏のみならず、国内各地から中国へのご出張、ご旅行等がますます便利になります。中国から訪日されるお客様にとっても利用がしやすいダイヤを設定することにより、国内各地にも足を運んでいただきやすくなります。

ビジネスを中心に渡航需要が旺盛な北米とアジアの一部路線においては、運航機材の大型化並びに最新プロダクトの導入を行います。これにより、今年2月の全欧州路線に続き、全ての米国本土路線(9路線)においてもビジネスクラスでフルフラットシートを提供させていただきます。

(1)新規開設・増便

路線	実施時期	現行	変更後	備考
成田＝ブリュッセル	2015年10月25日～	—	7往復/週	新規開設 ※1
羽田＝広州	2015年10月25日～	—	7往復/週	新規開設 ※2
羽田＝北京	2015年10月25日～	7往復/週	14往復/週	※2・3
羽田＝上海	2015年10月25日～	7往復/週	14往復/週	※2・3・4
羽田＝香港	2015年10月25日～	9往復/週	10往復/週	※5
羽田＝シドニー	2015年12月11日～	—	7往復/週	新規開設 ※6

※1 ANA NEWS 第 15-017 号(2015 年 6 月 1 日付)および ANA NEWS 第 15-033 号(2015 年 7 月 1 日付)にて発表済み。

※2 ANA NEWS 第 15-045 号(2015 年 8 月 4 日付)にて発表済み。

※3 増便の中国発便は 10 月 26 日から運航開始。

※4 現在、虹橋空港発着便を運航していますが、浦東空港発着便として増便いたします。

※5 深夜時間帯運航の NH839/840 が増便(月・土・日曜日の運航)。

※6 ANA NEWS 第 15-035 号(2015 年 7 月 16 日付)にて発表済み。シドニー空港発は、2015 年 12 月 12 日から運航開始。

(2)減便・休止

路線	実施時期	現行	変更後	備考
成田＝北京	2015年10月25日～	14往復/週	7往復/週	※7
成田＝パリ	2015年10月25日～	7往復/週	—	

※7 ANA NEWS 第 15-045 号(2015 年 8 月 4 日付)にて発表済み。

(3)機材変更

路線	実施時期	変更前		変更後		備考
		機材	週間便数	機材	週間便数	
羽田＝ロサンゼルス	2015年10月25日～	B777-200ER	7往復/週	B777-300ER	7往復/週	
羽田＝パリ	2015年10月25日～	B787-8	7往復/週	B787-9	7往復/週	
羽田＝ソウル(金浦)	2015年10月25日～	B777-300ER B787-8	7往復/週 14往復/週	B777-200ER B767-300ER B787-8	7往復/週 7往復/週 7往復/週	※8
羽田＝ハノイ	2015年10月25日～	B787-9	7往復/週	B787-8	7往復/週	
羽田＝マニラ	2015年10月25日～	B767-300ER	7往復/週	B787-8	7往復/週	
羽田＝ホノルル	2015年10月25日 ～2015年11月30日	B767-300ER	7往復/週	B777-200ER	7往復/週	※9
成田＝シアトル	2015年10月25日～	B777-300ER	7往復/週	B787-8	7往復/週	
成田＝マニラ	2015年10月25日～	B767-300ER	7往復/週	B787-8	7往復/週	
	2015年12月3日～			B787-8 B777-200ER	2往復/週 5往復/週	
成田＝ジャカルタ	2015年10月25日 ～2015年12月31日	B787-8	7往復/週	B767-300ER	7往復/週	※10
成田＝上海(浦東)	2015年10月25日～	B787-8 B777-200ER	14往復/週 7往復/週	B787-8	21往復/週	
	2015年2月15日～			B787-8 B767-300ER	14往復/週 7往復/週	
関西＝青島	2015年10月25日～	B767-300ER	7往復/週	B737-700	7往復/週	
羽田＝北京	2015年12月11日～	B767-300ER B777-200ER	14往復/週	B787-9 B777-200ER	7往復/週 7往復/週	

※8 2月以降は B777-200ER を 14 往復/週、投入予定。

※9 12月以降は B767-300ER を再投入予定。

※10 1月以降は B787-8 を再投入予定。

* 当日の機材・運航状況により変更となる場合がございます。

3. 貨物専用便

成長著しいASEAN域内の貨物需要を取り込むべく、9月より開始するバンコク－ジャカルタ線の運航を2015年ウィンターダイヤ以降も継続いたします。

また、フレイター(貨物専用機)11号機の本格稼働開始に伴い、中国路線を中心に貨物便ネットワークのさらなる拡充を図ってまいります。

(1)新規開設・増便

路線	実施時期	現行	変更後	備考
成田－バンコク－ジャカルタ－成田	2015年9月2日～	—	2往復/週	※1
成田－廈門	2015年10月25日～	4片道/週	7片道/週	
廈門－沖縄	2015年10月25日～	—	3片道/週	
成田－青島	2015年10月25日～	—	3片道/週	
青島－沖縄	2015年10月25日～	—	3片道/週	
成田＝広州	2015年10月25日～	1往復/週	7往復/週	
関西＝沖縄	2015年10月25日～	11片道/週	12片道/週	

※1 ANA NEWS 第 15-044 号(2015年8月3日付)にて発表済み。2015年10月27日以降は3往復/週運航。

(2)減便・運休

路線	実施時期	現行	変更後	備考
成田＝ジャカルタ	2015年9月2日～	3往復/週	1往復	※2
広州－沖縄	2015年10月25日～	6片道/週	－	※3
成田－沖縄	2015年10月25日～	7片道/週	6片道/週	※4

※2 2015年10月27日以降は運休。

※3 成田－広州は、6片道/週から7片道へ増便。

※4 6片道はNCAによるエアラインチャーター便にて運航。

以上